

❁ 前期が終わりました ❁

空の青さが一段と鮮やかに感じられる季節となりました。秋本番、一年で一番過ごしやすい季節でもあります。子どもたちの学習や活動への気力も高まりやすいこの時期に、さらに意欲を高め、しっかりと一人ひとりの力を伸ばしていけるよう職員一同取り組んでいきたいと思っています。

去る3~5日の個別懇談会では、保護者のみなさまに時間をとっていただきありがとうございました。その時に話し合いの基となった「わたしのあゆみ」(通知表)を、今日子どもたちは持ち帰ります。「わたしのあゆみ」は、担任からお子さんや保護者のみなさまに伝えるメッセージです。お子さんへの励ましや成長を確かめ合う資料としていただければと思います。「わたしのあゆみ」に示された評価は、お子さんの姿の一部です。ぜひ、ご家庭で日頃から見ていただいている一人ひとりの努力やがんばりの具体的な姿と重ねながら、たくさんほめてあげてください。ほめられたり認めってもらったりした経験は、子どもたちの自信や心のエネルギーとなり、意欲につながっていきます。



3日間の休みをはさみ、後期が始まります。また新しい気持ちで、子どもたちがめあてや目標を決めてしっかり取り組んでくれることを期待しています。保護者のみなさまの引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

～主体的に学ぶ子どもをめざして～ 全国学力・学習状況調査の結果から

本年4月に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、7月末に調査結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校での「強み」「弱み」を把握して、指導方法や取り組みについての検討を行い、実践を進めているところです。

この調査に表れた結果は学力全体の一部ではありますが、本校児童の学力や学習・生活状況等についての傾向をつかみ、教員の指導方法の工夫改善に役立てるとともに、子どもたちが自らの得意な領域や不得意なことがらを知り、今後の学習や生活に活かせるよう取り組んでいきます。

どんな調査？

「教科に関する調査」(国語・算数)と「学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査」(児童質問紙)があります。

全国平均から見た本校の傾向について(成果○ 課題●)

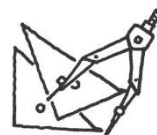
<教科に関する調査結果から>

国語では

- 本校は、全国及び三重県の平均正答率より高いという結果でした。(14問中平均正答率 9.6%)
- 学習指導要領の内容別にみると「思考力・判断力・表現力等」の「話すこと・聞くこと」は高いです。
- 無回答率(空欄のまま)は低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が見られます。
- 「思考力・判断力・表現力等」の「読むこと」「書くこと」はやや低いです。
 - ・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
 - ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えたことをまとめること に課題があります。

算数では

- 本校は、全国及び三重県の平均正答率より高いという結果でした。(16問中平均正答率 10.5%)
- 学習指導要領の領域別にみると「変化と関係」「データの活用」は高いです。
- 無回答率(空欄のまま)は低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が見られます。



- 「図形」の領域は低いです。
 - ・ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること に課題があります。
- 示されたわり算の筆算の意味を理解しているかに課題があります。
($66 \div 3$ の筆算で、十の位に「たてた」2の意味するものを選ぶ)



<児童質問紙調査の結果から>

学校生活・授業について

- 「学校に行くのは楽しい 94.4%」「先生はあなたのよいところを認めてくれている 100%」「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる 94.4%」「授業で学んだことをほかの学習にいかしている 94.5%」「学級の友達との間で話し合うことを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている 94.4%」と感じている子の割合が高いです。
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる 66.6%」「国語の勉強は好き 61.1%」が低くなっており、総合的な学習の内容や意欲づけ、国語の勉強が好きになるような手立てを工夫することが必要です。

家庭での生活や学習について

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしている 83.4%」の割合が高くなっており、家庭での学習習慣の定着がうかがえます。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日に1時間以上勉強をしている 66.7%」「土曜日や日曜日などの学校が休みの日に1日に1時間以上勉強をしている 55.6%」の項目が、低くなっています。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日に30分以上タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている 39.0%」となっており、低い結果となっています。

自分自身のことについて

- 「自分にはよいところがある 94.5%」の項目の割合が高く、自尊感情の高まりが見られます。「人が困っているときは進んで助けている 100%」「人の役に立つ人間になりたい 100%」など、社会に貢献する意識も高いといえます。

弱みの解決に向けて

子どもたちが意欲的に学習できるということが大事です。「わかる授業」「興味・関心がわく授業」ができるよう、私たち教師も研修を重ね、授業改善に努めていきます。

☆「話す・聞く」「読む」「書く」力をつける学習を充実させていきます。

具体的には、「国語だけに限らず、自分の考えや考えの根拠をまとめたり書いたりする活動を増やす」「キーワードや字数など提示された条件に沿って書く機会を増やす」「授業で、ペアやグループでの話し合い活動を活性化する」「問題や内容をイメージするために、図や式、数直線やグラフ等を活用していく」などです。

☆授業における「めあて」の提示と「ふり返り」の活動を行います。

学習する1時間毎に何を学習するのかという「めあて」を明確にし、授業の終わりにはふり返りで何を学習したのかわかったこと等を書き、書くことに抵抗をなくすようにしていきます。

☆基礎学力の定着を図ります。

基礎の計算や読み書きの定着のため、反復練習を大切にします。

朝の学習の時間を中心に、計算や読書等を行い、補充学習の充実を図ります。

タブレット等を調べ学習やドリル学習などの「個に応じた学習」に活用します。

☆家庭と連携し、家庭学習を行う習慣をつけていきます。

家庭ともしっかり連携し、計画的に家庭学習を行うように取り組んでいきたいと思います。

「10分×学年+10分」を目標に、自分から進んで学習や読書に取り組むようにします。

タブレット等の持ち帰りによる家庭での学習にも取り組みます。